

保育士

子どもの豊かな心を育み、
保護者の育児の悩みにも寄り添う仕事です

？ 保育士って、どんな仕事？



働いているパパ、ママたちに代わって子どもを育て、遊びを通じて運動能力の発達や感性を育てるよ。未来を担う子どもたちの成長を助ける、子育てのプロフェッショナルだワン！

Q. 目指したきっかけはなんですか？

保育士になりたいと思ったのは、保育園のころです！両親が共働きで幼少から保育園で過ごす時間が多く、その時間がとても好きで。保育園の先生が第二のお母さんのような存在でした。

卒園するころには、「私もこの保育園の先生になりたい！」と周りにも言っていて、高校、短大と保育士になるための道へ進み、本当にこの保育園の

保育士となりました。

Q. この仕事の魅力ややりがいがありますか？

小さいころから憧れだった仕事に就いて、毎日がとても充実しています。子どもと接することの大変さはもちろんありますが、日々の成長に出会えた瞬間や、保護者さんから「先生がいてくれて良かった」と言われたときに、一番うれしく、やりがいを感じますね。

自分自身が生まれ育ったこの保育園の温かさや自然豊かな環境、そしてこの地域が大好きです。将来、卒園した子どもたちや保護者さんに、この保育園、この地域に住んでいて良かったと感じてもらえたら、とてもうれしいです。



子どもたちだけでなく
パパ・ママの気持ちにも
寄り添う仕事です

保育士

佐藤 知奈美さん



佐藤さんの1日の仕事の流れ

8:30	出勤 家庭での様子や朝の連絡事項を確認する
9:00	おやつへの援助
9:30	子どもたちの遊びを見守る 一人一人のリズムに合わせて授乳や お昼寝の援助
11:00	給食への援助 お昼寝の援助
12:00	休憩
13:00	離乳食への援助
14:00	子どもたちの遊びを見守る
14:30	おやつへの援助
15:00	子どもたちの遊びを見守る 一人一人のリズムに合わせて授乳
17:00	退勤

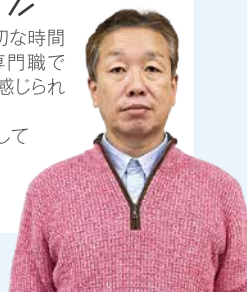


子どもたちの「自分でやりたい」という気持ちを尊重して、行動をほどよい距離で見守ることを心がけているという佐藤さん。子どもの個性に合わせたアプローチ方法の勉強も続けてます。

施設の方から一言！

保育士は、人としての礎を築く大切な時間に関わり合えるやりがいのある専門職です。子どもの日々の成長を身近に感じられるうれしさや楽しさもあります。子どもと共に、人として、保育士として成長しませんか？

園長 大友 潤一さん▶



保育園が好きすぎて…



自分も通われていた保育園で、保育士として働く佐藤先生は、優しく愛情にあふれていて、子どもたちがとても幸せそうでした。きっとご自身が受けた保育園の先生からの愛情があるから、こうして優しい気持ちのこもった保育ができるんだろうと思いました。この保育園と、生まれ育った地域への深い愛情も感じました。



次のページは生活相談員さんのインタビューですワン！